

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	服薬内容の把握が出来ていない。定時薬以外の内服忘れがある。特に薬の変更・中止・追加についての把握が出来ていない。	職員全員が薬や処置の把握が出来る。誤薬や未内服をなくす。他科受診の際の処方箋の手続きが全員出来る。	飲み込みの確認徹底する。服薬表を作成し分かり易い場所に貼る。追加や処置内容をホワイトボードに記入し一目で分かるようにする。連絡ノートを活用し周知徹底する。	6ヶ月
2	48	レベル低下により転倒する利用者が増えている。また、役割を持つことが困難になってきている。対応で困っている事の話合いが出来ていない。方向性が見つからない。	転倒による怪我の軽減。ケアの質の向上・統一を計る。利用者本位の考え方の対応が出来る。個々にあった役割がもて生活にハリ・生きがいがあり、楽しみを持って暮らしたい。	ご家族に現状を話し理解頂く。安全用具の検討や対応で困っていることを話し合う機会を多く持つ。ロールプレイングを用いて対応や声掛けの練習をする。日々の会話から何をしたいのか引き出し、もしくは聞き取る。出来る事を実行する。	12ヶ月
3	26	ケアプランを把握しておらず、プランに沿ったケアが出来ていない。	ケアプランに沿ったケアが出来る。職員全員がプラン内容を把握する。	全員が把握し記録に残す。カンファレンス・モニタリングを定期的に行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。